

山岳文化都市宣言



今から 50 年前、戦後間もない混乱期に、地元の青年たちは、文化、それも地方から発信する独自の地域文化の創造を求めて運動を行い、山岳博物館の創設を果たしました。

半世紀たった今日、時代の移り変わりとともに、山岳博物館や大町市の果たすべき役割もあらためて問われています。市立山岳博物館開館 50 周年を機に、先人たちが唱えた、地域文化の集約と発信という原点に再度立ち返りながら、新しい価値観に基づく山岳文化の創造をめざして、次のように山岳文化都市宣言を行います。

山 岳 文 化 都 市 宣 言

私たちの大町市は、雄大な北アルプスのパノラマを代表とする、四季折々の変化に富んだ豊かで美しい大自然に恵まれています。

北アルプスの山麓で生まれ、育ってきた市民は、その長い歴史を通じて、山岳がもたらす豊かな自然環境の恵みを受けながら、自然と人とが共生する独自の山岳文化を形成してきました。

私たちは、先人たちが守り育ててきた山岳文化を受け継ぎ、かけがえのない豊かで美しい自然を次の世代に伝えていかなければなりません。

21 世紀を迎えた今日、身近な生活環境の改善から地球環境の保全まで、様々な環境問題への取り組みが重視される中で、本市においても、市民、事業者、行政等が協働と連携を図りながら、新しい時代の課題や要求に応える山岳文化の振興が求められています。

本市における山岳文化の拠点である山岳博物館開館 50 周年の節目にあたり、山岳博物館創設当時の理念に学びながら、「環境の世紀」と言われる 21 世紀にふさわしい山岳文化の発展と創造をめざして、大町市を自然と人とが共生する「山岳文化都市」とすることを宣言します。

平成 14 年 3 月 15 日
大 町 市